

家庭学習，提出してくれたものを見せてもらいました。頑張って取り組んでくれてありがとう。15日に回収したものは，主に昨年度の復習の内容でした。取り組みやすかったのではないかと思います。しかし，人間だれしも‘うっかり’はあります。うっかり，見過ごした問題ページなどはピンクの付箋(ふせん)をつけておきましたので，もう一度取り組んで，再提出してくださいね。(提出点が大きく違ってきます！)

さて、では今回の学習プリントの解き方のヒントをお伝えします。答えがついていないプリントですが、どの学年の人も、教科書や辞書を使って、頑張って答えを書き込んでください。あなたの考えを書くところがたくさんあります。書いた方がお・ト・ク！頑張って！

[illegible]

課題① まずは音読して、どんな話かを知ろう。(おばあちゃんの関西弁は、きっとみんな、先生より上手に読めますね！)

課題② A 漢字の読み方は教科書本文の下欄に書いてありますよ。
B 言葉の意味は、辞書を使って調べ、書いておきましょう。

課題③ 場面一～四は、本文の一行空いているところで切り替わっています。一応、書いておきますね。

場面一 教科書P26「『なんや、また…』」

場面二 11 P27 「『おはよ。』と…」

場面三 〃 P28 「『こっちこっち、…』」

場面四 11 P29 「『いいねえ、』子供は。…」



課題④ 明生の気持ちは、それぞれの段落で少なくとも一回ずつは表れています。表の上には「言動」を書き抜きましょう（言動というのは、話している言葉や行動のことです）。下の段の「その言動から読み取れる気持ち」は、本文中の「僕が思ったこと」（←結構たくさん書いてありますよね！）を参考に考えて、自分の言葉で書くといいですね。

課題⑤ 「話の構成」「登場人物の魅力」「題名」「表現」について、問いを解くことで考えましょう。自分が考えたことを必ず書いて残しておきましょう。（文で書けるのが一番いいのですが、文で書くのが難しければ、文になっていなくてもかまいません。）

課題⑥ 「この作品の魅力」＝「この作品のいいなと思ったところ」です。

